

省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事（ICT 活用工事対象工種以外）積算要領

1. 適用範囲

本積算要領は省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事のうち、実施要領 2-1 に示す工種を実施する場合に適用するものとする。

なお、本資料は省人化建設機械（チルトローテータ）試行工事のための暫定的なものであることに留意されたい。

2. 積算方法

発注方式は、施工者希望型とし、当初発注時の計上は行わない。受注者からの協議により省人化建設機械（チルトローテータ）による施工を実施する場合、設計変更の対象とし、以下に示す方法によりそれぞれ計上する。

<基本的な考え方>

土木工事標準積算基準書（もしくは施工パッケージ型積算基準）上設定されている代表機労材（機械）の規格を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械規格に入れ替えるものとし、以下の表のとおり機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。

なお、入れ替え後の省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料及び、入れ替え後の施工パッケージ型積算方式標準単価表については別途示すものとする。

機械規格の入替対応表

入れ替え対象の機械規格	省人化建設機械（チルトローテータ）相当の規格
小型バックホウ（クローラ型） バケット容量 0.13m ³ ※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない	小型バックホウ（クローラ型） 標準型・排出ガス対策型（第 2 基準値） バケット容量 0.13m ³ チルトローテータ直付け
バックホウ（クローラ型） バケット容量 0.28m ³ ※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない	バックホウ（クローラ型） 超小旋回型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第 2 基準値） バケット容量 0.28m ³ チルトローテータ直付け

<p>バックホウ(クローラ型)</p> <p>バケット容量0.45m³ 又はバケット容量0.5m³</p> <p>※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない</p>	<p>バックホウ (クローラ型)</p> <p>後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型 (2014 規制)</p> <p>バケット容量 0.45m³</p> <p>チルトローテータ直付け</p>
<p>バックホウ (クローラ型)</p> <p>バケット容量 0.8m³</p> <p>※排出ガスや騒音に関するその他の規格要件は問わない</p>	<p>バックホウ (クローラ型)</p> <p>標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値)</p> <p>バケット容量 0.8m³</p> <p>チルトローテータ直付け</p>

<目次>

編名称	章名称	項名称	番名称	工種名称	番号
共通工	土工	土工	土工	掘削	【1-1】
				積込(ルーズ)	【1-2】
共通工	土工	作業土工	床掘工	床掘り	【2-1】
				舗装版破碎積込(小規模土工)	【2-2】
			埋戻工	埋戻し	【2-3】
河川	砂防工	土工	土工	掘削(砂防)	【3-1】
				積込(ルーズ)(砂防)	【3-2】

【1-2】土工-積込（ルーズ）

「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準）」に記載されている以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙3の通りとする。

2章②3-7(2) 積込(ルーズ) 代表機労材規格一覧

項目	代表機労材規格		備考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m ³	作業内容が土量 50,000m ³ 未満の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 1.3~1.5m ³	作業内容が土量 50,000m ³ 以上の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量 0.45m ³	作業内容が平均施工幅 1m 以上 2m 未満の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量 0.28m ³	作業内容が小規模(標準)の場合
	K 2	小型バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)〕バケット容量 0.13m ³	作業内容が小規模(標準以外)の場合
K 3	—		
労務	R 1	運転手(特殊)	
	R 2	—	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

【2-1】作業土工-床掘工-床掘り

「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準）」に記載されている以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙3の通りとする。

2章④3-1（2） 床掘り 代表機労材規格一覧

項目	代表機労材規格	施工方法						備考
		標準	平均 施工幅 1m以上 2m未満	掘削 深さ 5m超 20m以下	掘削 深さ 20m 超	左記 以外 (小規模)	現場 制約 あり	
機械	K1 バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] バケット容量0.8m ³	○						賃料
	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] バケット容量0.45m ³		○					賃料
	バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・排出ガス対策型（第3次基準値）] バケット容量0.28m ³					○		
	クラムシェル [油圧ロープ式・クローラ型] バケット容量（平積）0.8m ³				○			
	クラムシェル[油圧クラムシェル・テレスコピック式・排ガス対策型（2014年規制）] バケット容量（平積）0.26~0.3m ³			○				
	K2 小型バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] バケット容量0.08m ³			◎	○			
	K3 —							
労務	R1 運転手（特殊）	○	○	○	○	○		
	R2 普通作業員	△	△	○	○	○	○	
	R3 特殊作業員			◎	○			
	R4 —							
材料	Z1 軽油 パトロール給油	○	○	○	○	○		
	Z2 —							
	Z3 —							
	Z4 —							
市場単価	S	—						

※◎：障害有りの場合，△：土留方式無し以外の場合

【2-2】作業土工—床掘工—舗装版破碎積込（小規模土工）

「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準）」に記載されている以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙3の通りとする。

2章④3-4（2） 舗装版破碎積込（小規模土工） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）[標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] バケット容量 0.13m³	機械
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	運転手（特殊）	労務
	R 2	—	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	材料
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	市場単価

【2-3】作業土工-床掘工-埋戻工-埋戻し

「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準）」に記載されている以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙3の通りとする。

2章⑥3-1(2) 埋戻し 代表機労材規格一覧

項目	代表機労材規格	施工方法						備考	
		最小埋戻幅 △m以上	最大埋戻幅 △m以上	最大埋戻幅 △m以上 △m未満	最大埋戻幅 △m未満	左記以外（小規模）	現場制約有り		
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.8m ³	○	○	○				賃料
		バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量 0.45m ³				○			
		バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量 0.28m ³					○		
	K 2	ブルドーザ〔普通・排出ガス対策型（2014年規制）〕 通称 15t 級	○						
		振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕 運転質量 0.5～0.6t		○	○				賃料
	K 3	タンバ及びランマ 通称 60～80kg 級		○	○	○		※	賃料
ランマ 通称 60～80kg 級						○			
労務	R 1	運転手（特殊）	○	○	○	○	○		
	R 2	特殊作業員		○	○	○	○	※	
	R 3	普通作業員		○	○	○	○	○	
	R 4	－							
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	○	○	○	○	○		
	Z 2	ガソリン レギュラー スタンド		○	○	○	○	※	
	Z 3	－							
	Z 4	－							
市場単価	S	－							

※締固め有りの場合

【3-1】砂防工—土工—掘削（砂防）

「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準）」に記載されている以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙3の通りとする。

9章①3-1（2）掘削（砂防） 代表機労材規格一覧

土質	掘削範囲	項目	代表機労材規格	備考			
土砂 岩塊・ 玉石	—	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕バケット容量0.8m ³	・賃料 ・小規模以外の場合		
			K2	—	小規模の場合		
			K3	—			
		労務	R1	運転手（特殊）			
			R2	—			
			R3	—			
			R4	—			
		材料	Z1	軽油 パトロール給油			
			Z2	—			
			Z3	—			
			Z4	—			
		市場単価	S	—			
		軟岩 硬岩 転石	機械走行面 より5m以内	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕バケット容量0.8m ³	
					K2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）〔油圧式〕質量1,300kg級	
K3	—						
労務	R1			運転手（特殊）			
	R2			—			
	R3			—			
	R4			—			
材料	Z1			軽油 パトロール給油			
	Z2			—			
	Z3			—			
	Z4		—				
市場単価	S		—				
機械走行面 より5m超	機械		K1	—			
			K2	—			
			K3	—			
	労務		R1	特殊作業員			
			R2	普通作業員			
			R3	土木一般世話役			
			R4	— さく岩工	火薬使用不可の場合 火薬使用可の場合		
	材料		Z1	—			
		Z2	—				
		Z3	—				
Z4		—					
市場単価	S	—					

【3-2】砂防工—土工—積込（ルーズ）（砂防）

「土木工事標準積算基準書（共通編）（もしくは施工パッケージ型積算基準）」に記載されている以下の表の赤字で示す機械規格をそれぞれ省人化建設機械（チルトローテータ）相当規格に入れ替えるものとし、機械の損料又は賃料を省人化建設機械（チルトローテータ）相当の機械損料に差し替える。なお、省人化建設機械（チルトローテータ）の機械損料は別紙3の通りとする。

9章①3-3（2） 積込（ルーズ）（砂防） 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 バケット容量0.8m ³	・賃料 ・土砂等発生現場が標準の場合
		バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 バケット容量0.5m ³	土砂等発生現場が小規模の場合
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	運転手（特殊）	
	R2	—	
	R3	—	
	R4	—	
材料	Z1	軽油 パトロール給油	
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	